

赤潮・貧酸素情報（6）

平成29年7月3日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

7月3日に沿岸及び沖合調査を行った結果、有害プランクトンであるカレニア・ミキモトイ及びシャットネラ属の出現が認められました。

○カレニア・ミキモトイ、シャットネラ属の細胞密度

番号	採水場所	採水層	カレニア・ミキモトイ (細胞数/海水1ml)	シャットネラ属 (細胞数/海水1ml)
①	柄杓田漁港	表層	0	1
		底層	0	0
②	新門司港 (恒見)	表層	11	0
		底層	5	0
③	松山漁港	表層	5	0
		底層	0	0
④	苅田本港	表層	584	0
		底層	39	0
⑤	蓑島漁港	表層	10	0
		底層	1	0
⑥	稲童漁港	表層	0	1
		底層	5	0
⑦	宇島漁港	表層	0	0
		底層	1	0
⑧	吉富漁港	表層	0	0
		底層	0	0
⑨	柄杓田いかだ	表層	0	0
		底層	4	0
⑩	人工島	表層	0	0
		底層	0	1
⑪	北部沖	表層	0	0
		底層	0	0
⑫	シーバース	表層	0	0
		底層	0	0
⑬	蓑島いかだ	表層	0	0
		底層	14	0
⑭	南部沖	表層	0	0
		底層	0	0
⑮	椎田いかだ	表層	0	0
		底層	11	0
⑯	宇島いかだ	表層	0	0
		底層	0	0

- 有害プランクトン、カレニア・ミキモトイの増殖が苅田本港内で認められており、その他各漁港内や沖合域での出現が認められています。
- カレニア・ミキモトイは、数千～1万細胞で魚介類に被害を及ぼします。
このような海域では、定置網やかご等、また蓄養の魚介類がへい死する恐れがありますので、警戒をお願いします。
- 先週の調査よりもシャットネラ属の細胞数は減少していますが、同種は赤潮状態に達しない少ない細胞数(海水1ml中に数十細胞)でも、魚類などをへい死させるおそれがありますので引き続き注意をお願いします。
- 漁獲物の港内での蓄養は避け、早めの出荷を心がけてください。
- 今後も、天候次第ではさらに増殖する可能性がありますので、着色が認められていない港でも十分注意してください。
- なお、貧酸素水塊の発生は認められませんでした。
- 研究所では、引き続き調査を実施しますので、今後の赤潮情報に十分ご注意下さい。

今後、漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所(0979-82-2151、担当：恵崎、俵積田)までご連絡下さい。

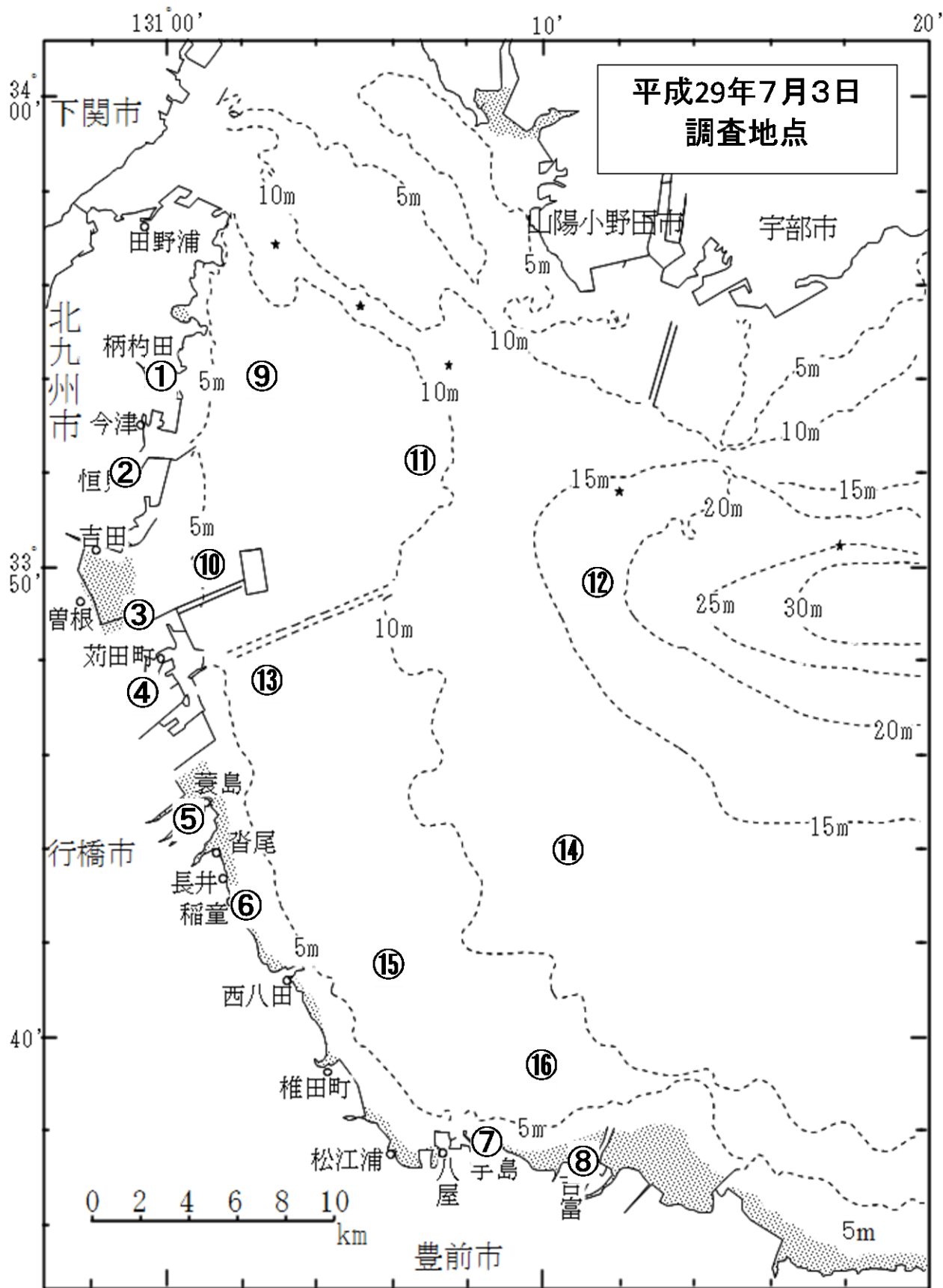


図 調査海域図